

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-107	小 学 校	理 科	理 科	3 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 303	みんなと学ぶ 小学校理科		

① 編修の基本方針

学校図書は、これからの社会の中で、子供たち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として主体的に生きていくためには、個々の考えを尊重し問題解決をしてゆき、共に高め合う力の育成が重要だと考えました。本教科書では、教育基本法に示された教育の目標を達成し、下記を編修理念に据え、育てたい資質・能力を以下のように整理しました。

多様性を前提とした問題解決能力の育成

- 多様な他者とコミュニケーションする力
- 少数意見も尊重した場合形成する力

- 「なぜ」「わかった」を尊重する力
- 論理的に考える力

- 未解決の問題への関心
- 社会に貢献する意欲

主な資質・能力

思考力、判断力、
表現力



生きて働く
知識、技能



学びに向かう力
人間性



これらをもとに、教科書は以下の3つの特色で構成されています。

特色

1

問題解決の力を
育てます。

- 見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書
- 問題解決の流れを大事にした教科書
- 活用する力を伸ばす教科書

特色

2

理科の学力を
確かにします。

- 知識及び技能が、確実に身につく教科書
- 系統的な学習を大事にした教科書
- 言語活動を促す教科書

特色

3

自然を愛する心情
を養います。

- 生命を尊重し、自然環境の保全する態度を育てる教科書
- 持続可能な社会を大事にした教科書
- 防災・安全意識を高める教科書

1 見通しをもって、主体的に問題解決する力を育てる教科書

❖与えられる「問題」ではなく、子供が解決したくなるような導入や場面を設けました。

◎「1 しぜんのかんさつ」

p.6-7



▶伝え合う中で、理科の見方・考え方を働かせて考えることができるよう、生活科から理科の学びへの入門期として、活動を設定しました。

p. 9



p.14-15



導入

観察
実験

共に
考える

新たな
問いへ

●やってみて、知りたい、と興味をもつような導入で、子供の知りたいという意欲を引き出します。

●観察をするときや、伝えるときの、見方・考え方をともに話し合いで共有します。

●観察や実験をした後の話し合いで、学びを深めます。

2 問題解決の流れを大事にした教科書

❖問題解決の過程を繰り返しながら、自然な流れで問題を解決することができます。

◎「科学のめを育てよう」：学年冒頭

p.4-5



◎「7 光を調べよう」：単元の流れ

p.97,98,99



学年
冒頭

単元の
流れ

●問題解決の過程を8つのステップに表し、学年冒頭に示しました。共に学び、深め合うようにそれぞれに対応したキャラクターや資質・能力のマークを示し、本文と連携させています。

●学年冒頭で示した流れは、そのまま学習の流れになっています。頁左に示したステップは活動に沿って縦につながっており、更に活動や考える視点なども示しています。

❖活動の中で学んだことを生かす場面を、随所に設けました。

2 ギョムの力をコントロールしよう

ギョムのびを低くすると、ギョムが元にもどろうとする力が強く
なることがわかりました。



2 ねん力

車の走るまよひを、ギョムのをばす高さで
コントロールできるか調べる

● ①②③ ④⑤ ⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

● 車押ししたギョム600の長さで、走るまよひを調べる。
車押ししたギョム200と600の長さで、走るまよひを比較して、考える。

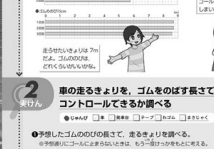
わかること

● 車押しした長さでかつたが
むに、車押しした長さで
を押し、コントロールする
ことができる。

● 車押ししたまよひで、走るまよひを比較して、考える。
車押しした長さで、走るまよひを比較して、考える。
車押しした長さで、走るまよひを比較して、考える。

2 ギョムの力をコントロールしよう

ギョムのびを低くすると、ギョムが元にもどろうとする力が強く
なることがわかりました。



2 ねん力

車の走るまよひを、ギョムのをばす高さで
コントロールできるか調べる

● ①②③ ④⑤ ⑥⑦⑧⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

● 車押ししたギョム600の長さで、走るまよひを調べる。
車押ししたギョム200と600の長さで、走るまよひを比較して、考える。

わかること

● 車押しした長さでかつたが
むに、車押しした長さで
を押し、コントロールする
ことができる。

● 車押ししたまよひで、走るまよひを比較して、考える。
車押しした長さで、走るまよひを比較して、考える。
車押しした長さで、走るまよひを比較して、考える。

120

121

実験で得た、結果の
グラフをもとに、車
の止まる位置を予想
し確かめます。

学んだことをもとに、おもちゃのしくみについて説明したり、もの作りの計画を立てたりします。

[illegible]

2

理科の学力を確かにします。

❖ 学ぶことを確認してから学び、更に振り返ることで、確かな学びにつなげます。

[illegible]

>>>>>

●領域別に単元ごとの学習内容を示します。そこで働かせる見方・考え方などにも触れています。

[illegible]

>>>>>

●学年末には、単元末で内容を整理して確認し、次の学年へつなげます。

次の
学年へ

❖説明活動を随所に設け、「わかったつもり」ではない、より深い学びにつなげます。

2

もののしゅりんと重さについて、せつめいしましょう。-----□

あいさんはアルミニウムと鉄の重さをくらべるために、アルミニウムの
かんと、スチールのかんの重さをすくくらべ、次のように言いました。

スチールかんよりアルミかんのほうが
重く感じるよ。だから、鉄よりも
アルミニウムのほうが重しよ!

さっか
ら
ぶ
え
さ



おやおや-それては
アルミニウムと鉄の
重さをくらべなけ
ない。



あいさんのくらべ方は、どこがいけなかつ
てしょうか。「同じ体せき」という言葉を使っ
てせつめいしましょう。

●**学びが、単なる暗記ではなく意味理解できているかを、具体的な場面や生活につなげた内容で説明することによって、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。**

❖ 学年間、当該学年の中でつながりのある内容について、明示しました。



- 目次 (p.1) 以外にも領域ごとに内容を明示することによって、似たような見方が使えないかと考えられるようにしました。

●同じ領域で、学びが生かせるものに関しては、総合タイトルをつけ、学びが継続するようにしました。

（学びをつなぐ）

◎ 「しぜんのかんさつ」

- ・「**1** しぜんのかんさつ」 p.6
- ・「**2** 植物を育てよう」 p.16
- ・「**4** チョウを育てよう」 p.46
- ・「**5** こん虫を調べよう」 p.70



特色

3

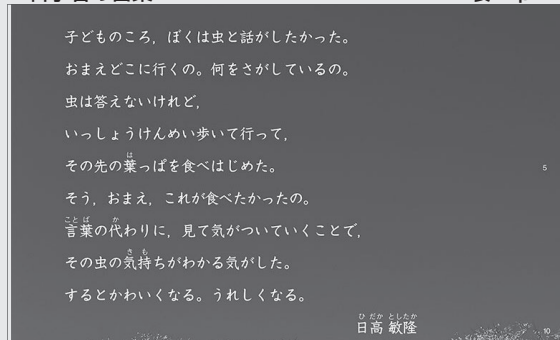
自然を愛する心情を養います。

① 生命を尊重し、自然環境の保全する態度を育てる教科書

❖命と触れ合うことの喜びや、生き物の気持ちになって考えることに触れ、命を尊重する心を育みます。

◎科学者の言葉

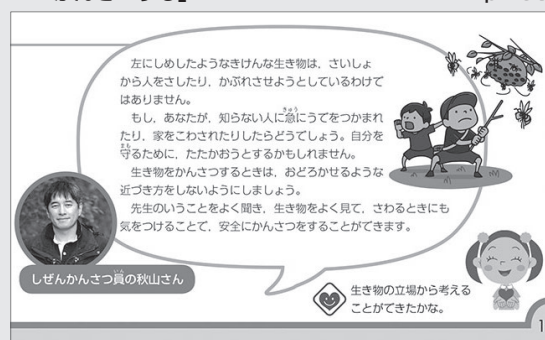
表2-p.1



- 生命との関わりやその活動を通しての発見が、喜びやまた更なる興味へとつながるようにとの思いが、この言葉にもこめられています。

◎ 「かんさつする」

p.169



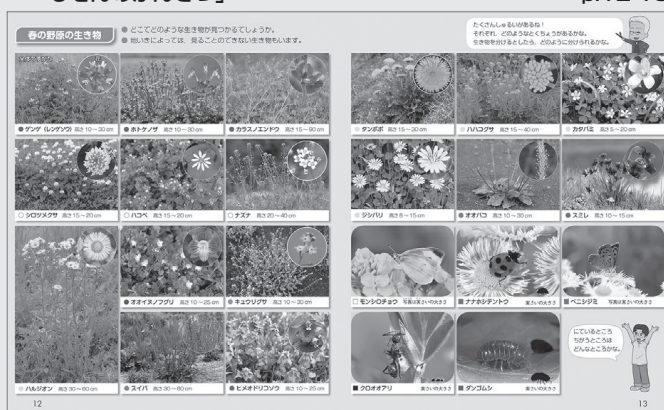
- 野外の危険な生物への注意を促すとともに、生き物の立場からも考えることにより、観察の際の生き物の命を大切に思うことを意識できるよう配慮しました。

② 持続可能な社会を大事にした教科書

❖ 観察や栽培などをする中で、生き物の共通性・多様性を実感できるよう、具体的な活動を設けています。

◎ 「しぜんのかんさつ」

p.12-13



p.14



- いろいろな生き物を紹介し、生物の多様さを伝えるだけではなく、仲間わけするには、どのような視点で見ていくかなどを具体的な活動の中からイメージできるようにしました。

③ 防災・安全意識を高める教科書

※すべての観察・実験等の活動について、防災・安全意識が高まるようにしました。

◎「かんさつする」：危険な生物 p.168



◎「理科室の使い方」：安全・防災 p.174



- 安全に観察・実験を行うために、活動中に災害が起こったことなどを想定し、安全のための注意喚起に関して具体的な対処を記載している。
- ソーラークッカーなど、自然の力でものを温めることができるものを紹介し、防災に対する関心が高まるよう配慮している。 p.99

●しんが起きたときは

- ① つくえの下にもぐるなどして、頭を守ります。
- ② 身をかくすところがない場合は、教科書やノートなどで頭をおおい、できるだけひくいせいをとりま。



② 教育基本法との対照表

教育基本法第2条	意を用いた点や特色	箇所
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	●学習内容をより深いものにするための知識や技能などをわかりやすく掲載するとともに、説明活動などの知識を活用する場を設けることにより、意欲を高め、学習内容が定着するよう配慮した。 ●観察する生き物との関わりの中で、命についての愛情や配慮について学び、観察している対象や共に学ぶ仲間など、相手の立場になって考える豊かな情操と道徳心を養えるよう配慮した。 ●導入を屋外で児童が活動している様子を提示することにより、意欲を喚起し、積極的な活動により、健やかな身体を養うよう配慮した。 ●学習内容に関連した資料や、科学者などの言葉を通して、少数意見も含めた多様な考えも尊重し、自己の学びや考えを深めてゆける、豊かな情操を育むよう配慮した。	表2, 2-5,6-23, 24,40-67, 165-180
第2号 個人の価値を尊重し、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	●学習を生かしたものの作りなどにおいて、個人の創造性を育むとともに、お互いの交流を通して個々の価値を認め、更なる意欲につながられるよう配慮した。 ●身近な生活や仕事などと関連した教材を示し、学習内容とのつながりを持たせ、更なる興味を呼び起こし、学びを広げられるよう配慮した。 ●くらしや仕事に生かされている内容との関連をはかり、理科の学習の有用性を実感できるよう配慮した。	33,38,58, 77,86,90, 134-136, 153,154, 102,103, 109,112, 136,146, 163
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	●4人の成長するキャラクターと学年ごと1人の博士を設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮した。 ●活動写真に、男女のグループ写真を掲載し、協力しながら学習を行う様子を示すことにより、男女平等と協力の心をはぐむよう配慮した。 ●学習において公共施設の活用を積極的に行うことにより、社会への積極的な参画に寄与する態度を養うことができるよう配慮した。	6-164, 166, 68,
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	●責任をもって育てる、観察する生き物への配慮を意識するなどの活動を通して、生命尊重、環境保全の心を育てるよう配慮した。 ●自然への配慮を呼びかけるだけではなく、自分にできることなどを考えさせることにより、持続可能な社会づくりに貢献できる態度を育成できるよう配慮した。 ●生き物などの立場になって考える、想像力を働かせるなどの投げかけにより、実感を伴って命を大切にする心を養うことができるよう配慮した。	6-23,46- 67,70-81, 168,169,
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	●学習内容に関連し、かつ生活や文化に関連するものを、国内外扱うことにより、自国を愛し、他国を尊重する態度を養うよう配慮した。 ●様々な地域の写真を扱うことにより、自他共に尊重し、我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮した。	33,58,82, 90,103,109, 112,136, 165

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-107	小 学 校	理 科	理 科	3 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 303	みんなと学ぶ 小学校理科		

1. 編修上特に意を用いた特色

特色

1 科学の芽が育つ教科書

① 学びの中でつけたい資質・能力を示しました。

※自らが見つけた問題に対して、どういう見方や考え方をすれば解決に向かうのか、理科ではどのような力を養うことができるのか。問題解決の流れに沿って、8つのステップにまとめ、それぞれの内容に合わせてつけたい資質・能力をマークで示しました。

◎「科学のめを育てよう」p.4-5



知識・技能



思考・判断・表現



学びに向かう力・人間性



② その中で、単元の中で主に育てたい資質・能力も、それぞれ明示しています。

※上記の「学年でつけたい資質・能力」の中から、各単元の冒頭で3つずつキャラクターとともに示しています。更に、学習後にはそれらの観点で学びを振り返ります。



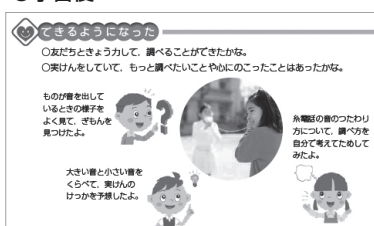
◎「6 音をつたえよう」

p.82-83

●単元冒頭



●学習後



p.91

2 対話を通して深く学べる教科書

1 自分の驚きを伝え合いたいという思いが、科学の芽を育みます。

※自分の驚きや発見を伝え合いたい、その思いが表現力を育みます。



◎「しぜんのかんさつ」 p.6-7
◎「植物を育てよう」 p.16-17
◎「チョウを育てよう」 p.46-47

- 3年は生活科から理科になったばかり。そのため、観察や実験など、記録をする際には、相手を意識した活動が有効です。生物領域では、単元冒頭などで、子供の言葉で投げかけをしています。

2 説明活動で、「わかったつもり」が、「わかった！」に。

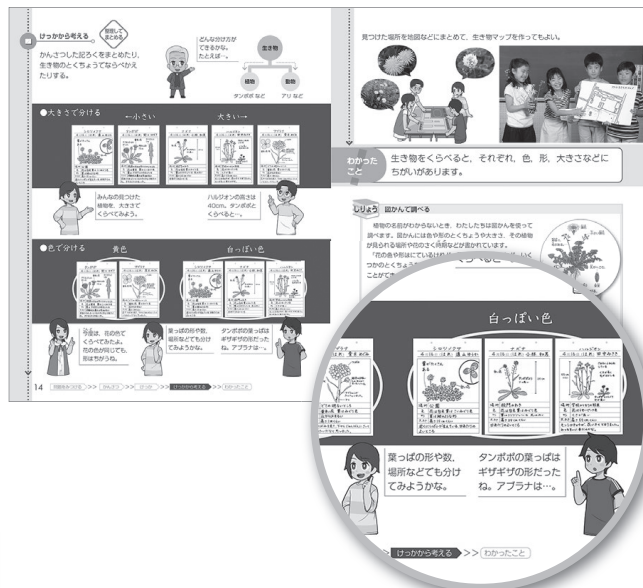
※言葉だけの暗記、なんとなくの理解が、説明活動をすることで明らかになり、学びを振り返ることができます。

- 学びが、単なる暗記ではなく、意味理解できているかを、具体的な場面や生活につなげた内容で説明することによって、もう一度振り返ったり、理解を深めたりすることができます。

◎「ものの重さを調べよう」 p.164



◎「しぜんのかんさつ」 p.14-15



- 観察の記録をみんなで比べ、話し合う活動により、新たな視点や気づきが得られることがあります。また、データが増えることにより、傾向が掴みやすくなります。

3 安心して使える教科書

1 ユニバーサルデザインでわかりやすく、安全に器具の使い方を習得できます。

※すべての子供が、見通しを持って学習できるような、レイアウトの工夫や、内容の厳選を行っています。

おんどけい ほうい
温度計・方位磁針

温度のはかり方
温度計は、ものの温度をはかる道具です。
地面や水、空気などの温度をはかることができます。

① えきの先の動きが止まったら、えきの先の目もりを目の高さに合わせて真横から読む。
② 温度計がななめになっているときは、下の図のように目もりを真横から読む。

読んでみよう
① 近い方の目もりを読むから…
② ③

方位磁針の使い方
方位磁針は方位を調べる道具です。はりに色がついている方が北を指し、北がわかると南、東、西の方位もわかります。

① のせる
手のひらに方位磁針をのせる。
② 回す
はりの動きが止まったら、文字ばんを回して、「北」の文字を色のついたはりの先に合わせる。
③ 読む
方位を読む。

色のついたはりを、北の文字に合わせると、他の方位もわかるね。

色をついたはりの先

●今、どこまでできているかななどの時系列の関連をつかむことに難しさのある子供には、
・1工程ごとに写真と対応させる。
・できたらチェックして確認する。
という方法が有効です。

◎「考えよう調べよう」温度計・方位磁針 p.176

2 日々の防災意識につなげます。

作ってみよう
ソーラークッカーを作ろう

はね返した日光を集めると、ものをあたためることができます。このことをりようした調理器具を、ソーラークッカーといいます。
ソーラークッカーを使って、水をあたためてみましょう。

アルミニウムはくをはったダンボールの板
クリップでとめる
温度計
スポンジ
黒くぬったかん(水を入れる)

どのくらいあたまるのかな。

注意 かんやかんのまわりはあつくなるので注意します。

◎「光を調べよう」 p.99

・じしんがおきたときは・

① つくえの下にもぐるなどして、頭を守ります。
② 身をかくすところがない場合は、教科書やノートなどで頭をおおい、できるだけくいせいをとります。

◎「考えよう調べよう」 p.174

●学習した内容をそのまま終わらせるのではなく、自らの生活につなげる、日頃からの防災意識を持つなどの意識が大切だと考えました。
●また、理科室などで地震が起きたときなど、どのような対応を取ればよいかを記載し、児童が日頃から意識することができるようにしています。

4 学びをつなげる教科書

1 学んだことを、次の学びにつなげて生かします。

※単元の中で完結するのではなく、あの考え方はここにも使えそうだなと生かすことができる子供を育てます。



明かりをつけよう

p.131



じしゃくのひみつ

p.142-143



●「明かりをつけよう」で学んだことを、「じしゃくのひみつ」で予想の根拠とします。

●「明かりをつけよう」「じしゃくのひみつ」で学んだことを、金属、鉄などの物質に目を向けられるように「何でできているか」を意識して学習します。

2 暮らしや仕事につなげます。

交通安全

p.102

しりょう 光をはね返して安全をまもる

下の写真のように、くつなど夜に光って見えるものがあります。これは光を出しているのではなく、車などのライトの光をはね返して光って見えるのです。道路ひょうしきなども、光をはね返すしくみになっているものがあり、暗いときもひょうしきの注意が見えやすくなっています。

暗いところでくつに光を当てると…

光をはね返している

当てていないとき

当てたとき

光をはね返している

オリンピック

p.90

しりょう 音をつたえるスピーカー

音楽などの音をならすスピーカーは、携帯電話の紙コップと同じように、しんどう電という部分があることによって音が聞こえています。

スピーカーにさわって、ふるえているかを、たしかめてみましょう。大きい音が出ているときにはふるえが大きくなり、小さい音が出ているときにはふるえが小さくなります。

電話などにも、小さいスピーカーが入っており、同じようにふるえることによって音を出しています。

けいたい電話のスピーカーから音が聞こえる

水の中で音を聞く アーティスティックスイミング

水の中で使えるスピーカーもあります。鉄ぼうなどのふるえが伝わったように、水の中にもふるえが伝わります。水の中でもそのふるえを音として聞くことができます。

水中で音楽を聞いておよう アーティスティックスイミングのせんしゅ

水中スピーカー

音で見分ける

p.86

音で調べる

ぼうさい

仕事に生きる

ものをたたいたりはいたりすると、ものがふるえて音が出ます。

線路や電車のボルトがゆるんていたり、コンクリートのかべなどが古くなってこわれていなか、安全のためにけんけんをします。そのときものをたたいて音で聞き分ける方ほうがあります。ものをたたいて、いつもとの音のちがいを聞き分けることによって、ボルトのゆるみや、コンクリートのわれを発見し、じこなどがおきないようにします。

ボルト

●交通安全のための反射板、事故防止の打音検査、オリンピック競技のアーティスティックスイミングなど、安全や暮らし、スポーツなどの内容を掲載し、学習した内容が暮らしに生きていることを扱っています。

2. 対照表

単 元 名	学習指導要領	該当ページ	配当時数
❶しぜんのかんさつ	B(1) ア(ア), B(1) イ	01～1, 6～15 ページ	4
❷植物を育てよう	B(1) ア(ア) (ウ), B(1) イ	16～23, 40～45, 66～67, 78～81 ページ	10 (9)
❸かげと太陽	B(2) ア(ア) (イ), B(1) イ	24～39 ページ	8
❹チョウを育てよう	B(1) ア(ア) (イ), B(1) イ	46～65 ページ	8 (7)
●わたしの自由研究	B(1) ア(ア) (イ) (ウ), B(1) イ	68～69 ページ	1
❺こん虫を調べよう	B(1) ア(ア) (イ), B(1) イ	70～77 ページ	3
❻音をつたえよう	A(3) ア(ウ), A(3) イ	82～91 ページ	6 (5)
❼光を調べよう	A(3) ア(ア) (イ), A(3) イ	92～103 ページ	8
❽風のはたらき	A(2) ア(ア), A(2) イ	104～113 ページ	6
❾ゴムのはたらき	A(2) ア(イ), A(2) イ	114～123 ページ	6
❿明かりをつけよう	A(5) ア(ア) (イ), A(5) イ	124～137 ページ	8 (7)
⓫じしゃくのひみつ	A(4) ア(ア) (イ), A(4) イ	138～155 ページ	12 (10)
⓬ものの重さを調べよう	A(1) ア(ア) (イ), A(1) イ	156～164 ページ	9 (7)
科学者のでん記を読もう	B(1) ア(ア), B(1) イ	165 ページ	1
考えよう調べよう	全	166～177 ページ	
総授業時数 (精選時数)			90 (82)

【各単元の構成】

- 3年生で重視される問題解決の力を確実に身につけられるよう、配列及び内容を工夫しました。
- ❶しぜんのかんさつでは、生活科との接続を重視するとともに、比較する、伝えることを単元構成の核に据え構成しました。
- ❷植物を育てようでは、継続観察を通して、同一植物の時間的比較や違う植物とのつくり等を比較し、観察・記録といった基礎技能の定着をはかるよう構成しました。
- ❸かげと太陽では、日常の現象から問題をみつけるとともに、活動の中で方位や温度の計測といった基礎技能の定着をはかり、空間概念の基礎を培うよう配慮し、構成しました。
- ❹チョウを育てようでは、継続観察を通して、時間的比較や違う昆虫との育ち方を比較し、観察・記録といった基礎技能の定着をはかるよう構成しました。
- ❺こん虫を調べようでは、生物のすみかやつくりを調べる中で、多様性と共通性や、環境という概念の基礎を培うよう構成しました。
- ❻音をつたえようでは、実際の活動から問題をつかみ、目に見えない音を視覚や触覚でとらえるという科学の方法を学べるよう構成しました。
- ❼光を調べようでは、光を集めたときの温かさのちがいを調べる中で、計測し、測定値を表に表して比較し考えるという方法を学べるよう構成しました。
- ❽風のはたらきでは、生活科での活動を元に、より分析的に「持ち上げる重りの数」で調べていくよう構成しました。
- ❾ゴムのはたらきでは、生活科での活動を元に、分析的にグラフで比較していく活動を取りあげ、さらに車の走る距離をコントロールする場面では、グラフを元に予想していく場面を設定しました。
- ❿明かりをつけようでは、電気の回路について学ぶとともに、通電性を調べる活動を通して、145～146 ページにあるような空間概念や物質概念の基礎を培うよう構成しました。
- ⓫じしゃくのひみつでは、磁石の性質について学ぶとともに、133 ページにあるような空間概念や物質概念の基礎を培うよう構成しました。また、150 ページでは、これまで学んだことをもとに予想・計画する場面を設けています。
- ⓬ものの重さを調べようでは、ものの重さを調べていくなかで、「同体積で比較する」という科学の考え方を学べるよう構成しました。
- 考えよう調べようでは、3年生で学ぶ理科の見方・考え方を示すとともに、計測器具の使い方等、基礎技能をおさえることができるよう、構成しました。

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30 - 107	小 学 校	理 科	理 科	3 年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	理科 303	みんなと学ぶ 小学校 理科		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
90	水の中で音を聞く アーティスティックスイミング	1	3年 A (3) ア (ウ) 物から音が出たり伝わったりするとき、 物は震えていること。また、音の大きさが 変わるとき物の震え方が変わることを。	0.5
102	光をはね返して安全をまもる	1	3年 A (3) ア (ア) 日光は直進し、集めたり反射させたりで きることを。	0.5
112	風力発電き	1	3年 A (2) ア (ア) 風の力は、物を動かすことができることを。 また、風の力の大きさを変えると、物が 動く様子も変わることを。	0.25
133	金ぞくのせいしつ	1	3年 A (5) ア (イ) 電気を通す物と通さない物があることを。	0.25
149	地球は大きなじしゃく	1	3年 A (4) ア (イ) 磁石の異極は引き合い、同極は退け合う ことを。	0.25
163	水と油をくらべると	1	3年 A (1) ア (イ) 物は、体積が同じでも重さは違うことが あることを。	0.25
合 計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1 … 学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 … 学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容